

# 凜 凜

発行：2011年 6月 20日（月）  
生徒指導部 生活指導係  
第三号

## ～生徒のみなさんへの omoigoto～

今まで一号・二号とも冒頭はタイトルについて書かれてあったと思います。しかし、もうそれには触れなくても大丈夫ですよ。凛凜しい明秀生のみなさん。

さて、みなさんのなかには特定の彼氏・彼女とお付き合いをしている人がいますね。

この第三号では少しそのお付き合いの仕方についてみなさんに考えて欲しいと思います。

恋愛についての価値観はさまざまです。人に言われ、押し付けられるものとも違いますから、私も押し付けたくはありません。物事には色々な考え方がありますから。(恋愛に限ったことではないですけど)ですから私としてはできればそっとしておきたいテーマの一つではありました。しかし、強いてそのテーマを持ってこなければならなかったには理由があります。それは、みなさんの中で人目を憚らない人がいたり、相手・周囲への思いやりが足りない事が原因で問題行動に至っている場合があるからです。

ところでみなさんは、本校の先生方の高校時代の恋愛事情について興味はありませんか？高校時代、彼氏・彼女とどんなお付き合いをしていたのか、どんな事を考えていたのか。

「凜凜」に掲載するのを前提に今の高校生とはどのような点に違いがあったのかも併せて率直に伺ってみました。

向井 理先生 (20代・男性)

私が高校生の頃は、小・中と同じ学校に通った子とお付き合いしていました。彼女が中学の途中で転校し当時、私が住んでいたのが木更津。

彼女が住んでいたのは池袋でした。通っていた高校もそれぞれ千葉と東京という距離であったためほとんどが携帯でのやりとりでした。高校時代の私は部活しか頭にありませんでした。

彼女も彼女で進学校へ進んだため、勉強して大学に進もうというお互いの目標へ向かって励ましあっていました。私の性格上

一緒にいて自分を高めてくれるような人物に魅力を感じるので足を引っ張りあったりするということは絶対にありませんでした。

今の高校生と比較してみると、大きく2つ価値観のずれがあると私は感じています。

1つは親との関わり方が違った気がします。高校生の時に彼女を親に紹介するなんてことは私を含め、みんなありえませんでした。自分の行動を親にいうなんてことは高校生の時はしなかった気がします。特に部活の試合に自分の親の車で彼女が来るなんてことは絶対にありませんでした。もう1つは今の高校生は「彼女がいなければイケてない」という見栄を張っているようにしか私には見てとれません。高校時代は何事にも全力でチャレンジできる年代だと思っています。やはり、お互いを高めあうことができる人、またそのようなお付き合いの仕方が望ましいのではないのでしょうか。

錦戸 亮先生 (30代・男性)

同じ高校内で付き合いっていたのは、クラスに2～3人程度で、あとは恋人がいないか、他校の生徒と付き合いしていました。当時はポケベルが流行していましたが、クラスに10人いないくらいしか所持していませんでした。PHSはクラスに1人くらい。相手の親が出ないかドキドキしながら、自宅に電話したことを覚えています。デートはカラオケ、映画、ボーリング、学校近くの店をフラフラ。待ち合わせ時間に会えないと携帯電話も無いのでただ待つ事しかできませんでした。学校内で暇さえあれば会っている、というパターンは少なく、登下校時たまに一緒か土日のいずれかに会うようなお付き合いでした。

広末 涼子先生 (30代・女性)

私が高校時代は、まだポケベルやPHSが全盛期の頃だった

ので、今の高校生と比べて、アナログな連絡方法やアプローチで事を進めていたと思われます。ポケベルもPHSも文字数が限られていたし、絵文字もなかったし恋愛に限らず今の高校生とはコミュニケーションの手段から違いますね。ですから手紙を渡したり、家の電話で話したりとか、奥ゆかしい感じでした。

私は基本的に同じ学校の人を好きになっていました。同じ人に3回告白してふられたり、お互い好きになった時期がすれ違って結局付きあえなかったり、自分からアプローチして付き合い合った先輩は1ヶ月で冷めてしまったり、色々なケースがありました。高校生活最後は他の高校で同じ陸上部だった人とお付き合いしました。高校時代の恋愛は、「一緒にいて楽しい」が相手彼氏、選びの基準だったように思います。あとはお互い応援し合える存在でいたいと思っていました。高校卒業後、私は浪人生で彼は自衛隊員となり一方的にふられました。10年越しに謝られ、「今さら～!?」ってことがありました。今の高校生と私の年代が明らかに違うのは、出会い方だと思います。想像以上に「ネットでの出会い」が多い気がします。mixiやblogの書き込みで知り合ったと聞くとびっくりします。正直、信じられないです…。でもそれが今のスタンダードなのでしょうかね？とにかく自分の高校時代と今の違いは恋愛の仕方が出会いから交際に至っても、アナログからデジタルへの移行という点だと思います。

[名前・地名はフィクションです]

人との付き合い方、相手を思う感情はそれぞれ違います。それに伴い行動もまったく違ってきます。前述の通り、学校生活全般については「～では困ります」とか「こうしなさい」と言えるのですが、このテーマについてはきっぱりとは言い切れません。高校生らしい男女交際といっても、その「らしさ」に相当、違いがあるからです。

しかし、いいですかみなさん。よく考えてみてください。彼氏・彼女はただ、いれば良いというものじゃないでしょう。彼氏・彼女と一緒にいることがおしゃれをすることと同義と捉えている人。実は多くいませんか。だから相手が優先ではなく自分の望みや感情が先に立つ。

常に自分を優先にして考え、それが叶わなければ、飽きてまた別の人。私は嫌ですね。

みなさんには心底、思いやることのできる相手と交際してもらいたいと思っています。お互いが、お互いを大切にすることが当たり前前にできる相手とお付き合いして欲しい。

格好つけたいがために、きちんと向き合えるかどうかもわからない人と、軽はずみにお付き合いしてしまうのは好みません。

カップルで公の場で一緒にの時の行動や態度に関しても、自分本位の愛情表現は相手を思いやることではないと思います。ある意味、晒し者にしているわけですから。(制服姿の高校生のカップルが周囲を気にせずべったりとくっついて二人の世界に浸っている光景を見て微笑ましく思う大人はあまりいないのです。同年代の高校生だって、口には出しませんが引き気味にみている子は多いです。)

公共の場での大胆な行為も本当に、周囲が認める常識的な行いなのか、相手を思うことなのか。是非、考えてみてください。

ただ、その加減のわかる人は、相手に対する思いやりや周囲に対する気づかひも忘れてはいないわけですが。

関 口

《生活委員会より》

6月1日～6月3日まで募金活動を実施しました。有志で女子バスケットボール部の皆さんが朝の練習を早めに取り上げ、正門での呼びかけに三日間とも参加してくださいました。おかげで呼びかけを大きくすることができ、たいへん助かりました。

パン、ジュースを我慢して募金してくれた生徒のみなさんその中でも一人の生徒が何度も募金してくれているのも見受けました。そして強引な生徒の呼びかけにも快く募金して下さった先生方、ありがとうございました。

おかげで今回の募金活動では **110,795 円** 集めることができました。ご協力、ありがとうございました。